

## 授業科目 [読書と豊かな人間性] 4年生・後期

- 到達目標
- ・児童生徒の発達段階に応じた読書教育の理念を理解している。
  - ・課題として出された図書を（読書材）を読み、レポートし、発表することができる。
  - ・読書教育の方法・技術を習得している。

	内容 項目	レベル 4	レベル 3	レベル 2	レベル 1	
1	知識と理解	読書教育の意義への理解	内面的成長に寄与する読書の意義、リテラシーの涵養、児童期の読書への好意度が生涯にわたる読書習慣に影響することを理解している。	リテラシーの涵養、成長に寄与する読書の意義を理解している。	リテラシー力の向上に読書が必要なことを理解している。	読書が娯楽の一種という理解にとどまる。
2		児童文学の講読	リストのうち、6冊以上の児童文学を読んでいる。	リストのうち、3～5冊の児童文学を読んでいる。	リストの児童文学講読が、2冊である。	リストの児童文学講読が、1冊以下にとどまる。
3	探究	読書材の解釈	物語の内容と著者のメッセージを的確に理解している。	物語の内容を的確に捉えている。	物語を理解しているものの、解釈に恣意的・主観的な部分がある。	物語をまったく異なる意味で解釈している。
4	方法と技術	子どもの発達段階に応じた図書の選択	子どもの発達段階、年齢やリテラシー力に応じた図書を選択・判別している。	子どもの年齢に応じた図書を選択・判別している。	図書の選択が主観的・恣意的である。	子どもの読書年齢・能力への配慮に欠ける。
5		プレゼンテーション	適切な音量、スピードで、表情を豊かに、内容をわかりやすく聞き手に伝えることができる。	適切な音量、スピードで、聞き手に伝えることができる。	適切な音量で、話すことができているものの、スピードや話し方がぎこちない。	声が聞き手に届かない。